

## 鹿児島県プロ人材拠点

### 3行庫のOB活躍

【鹿児島】鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点では、地元金融機関OB3人が中心となって人材不足に悩む事業者をサポートしている。拠点を開設した2016年から24年11月までに569件の人材マッチングを成約させたが、このうち60・8%（346件）は金融機関を通じて持ち込まれた相談案件だった。

同拠点は、地域企業の経営課題解決に合致した専門人材を全国から募集しマッチングすることで、営業力の強化や成長戦略の実現を支援している。県内約

20の人材紹介会社と連携しており、常勤か副業・兼業の形態での働き手を探す。

南日本銀行、鹿児島信用金庫のOB3人は、「人材活用支援専門員」として企業二

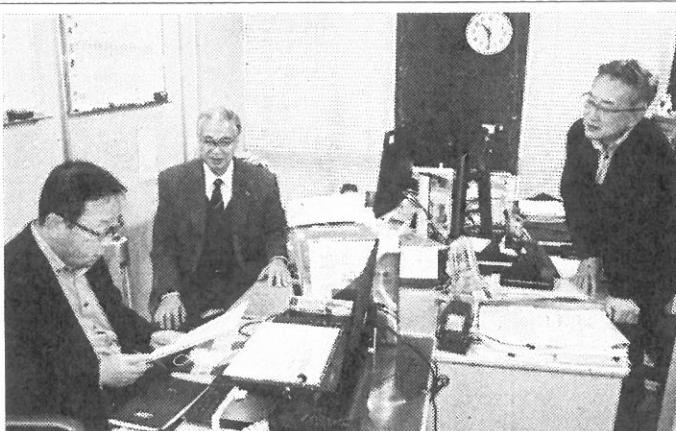
次に担当する。ヒアリングを通して企業の人材ニーズなどをまとめシートを作成し、募集

を行っている。他県では中小企業診断士などが担うことが多いが、鹿児島相互信金OB

が理解している」（同

拠点）ことからOBを活用する。

3人は、それぞれ勤務していた金融機関から紹介された案件を主



打ち合わせをする（左から）野元さん、有村さん、塩屋さん（11月28日、かごしま産業支援センター）

だ。

企業訪問時には、金

融機関の営業担当者や支店長と同行する。企

業の安心につながり経

造する事業者は、需要

なげやすい」という。

「現役の担当者の視点

やOBの経験などを踏

まえた多方面からアド

バイスができる」（南

鹿児島市内で脅を製

の減少に危機感を抱き

鹿児島信金を通じて同

拠点に相談。同信金O

Bの塩屋文和さんらが

経営内容を精査したう

えで、販路拡大をサポートしてくれる人材を

募集し、大手重工メー

カーの企画担当者と業

務委託契約を結んだ。

これにより、福岡県の

ホテルなど数件の販路

拡大が実現。売り上げ

が1割程度増加したと

いう。

鹿児島相互信金OBの有村吉弘さんは、「中小・零細企業は人材不足が喫緊の課題で、倒産・閉鎖につながりかねない。地元企業・産

業をお手伝いすることが重要」と話す。